

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2003-229080(P2003-229080A)

【公開日】平成15年8月15日(2003.8.15)

【出願番号】特願2002-23555(P2002-23555)

【国際特許分類第7版】

H 01 J 31/12

H 01 J 9/28

H 01 J 29/86

H 01 J 29/92

【F I】

H 01 J 31/12 C

H 01 J 9/28 A

H 01 J 29/86 Z

H 01 J 29/92 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電子を放出するカソードと、外部から電位が与えられる電極とを備える表示装置であつて、

前記電極が配置された第1の基板と、

前記第1の基板に間隔をあけて対向して設けられた第2の基板と、

前記第2の基板の外面側から該第2の基板を通して前記電極に電位を供給するための第1の導電性部材と、

前記第2の基板に設けられ、前記第1の導電性部材が挿入された貫通孔と、
を備え、

前記第1の導電性部材は、前記貫通孔内に位置する第1の部分と、該第1の部分と一緒に設けられて前記貫通孔の開口端部に位置する第2の部分とを有し、

前記第2の部分は、前記貫通孔を気密に閉塞して、前記第2の基板の外面上に接合されている表示装置。

【請求項2】

前記第1の導電性部材と前記電極との間に設けられ、該第1の導電性部材と該電極の各々に電気的に接続される導電性易変形部材を備えている、請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記第1の導電性部材は、熱膨張係数が 2.0×10^{-6} /以上、 12.0×10^{-6} /以下の基材からなる、請求項1または2に記載の表示装置。

【請求項4】

前記第2の部分には、前記第2の基板と接合材を介して接合される接合部に、該接合材との濡れ性を向上させる膜が設けられている、請求項1ないし3のいずれか1項に記載の表示装置。

【請求項5】

前記接合材は、金属材からなる、請求項4に記載の表示装置。

【請求項6】

前記電極には、前記カソードから放出される電子を加速する電位が供給される、請求項1ないし5のいずれか1項に記載の表示装置。

【請求項7】

内部の圧力が外部の圧力よりも低く、内部に外部からの電位が与えられる電極を備える気密容器であつて、

前記電極が形成された第1の基板と、

前記第1の基板に間隔をあけて対向して設けられた第2の基板と、

前記第2の基板の外面側から該第2の基板を通して前記電極に電位を供給するための導電性部材と、

前記第2の基板に設けられ、前記導電性部材が挿入された貫通孔と、

を備え、

前記導電性部材は、前記貫通孔内に位置する第1の部分と、該第1の部分と一体に設けられて前記貫通孔の開口端部に位置する第2の部分とを有し、

前記第2の部分は、前記貫通孔を気密に閉塞して、前記第2の基板の外面上に接合されている気密容器。